

1. 桜の苗の配布について

- * 公共(無償)配布制度がある・・・支部でなくともOK
 - ・申込書は花の会HPからダウンロード、 9月までに申し込み、
何本でも・・・相談に応じる
 - ・桜を植える場所(公園等)の青写真が必要
“さくらたん”を中心に据え、公園の看板に。 植える間隔は10m間隔。
 - ・申し込みは、女川桜守りの会 and/or 町役場、協同の方が好ましい。
- * 栗駒の事例： 3年前の地震・・・来春、桜を植える
(8/20に田中さんが行く予定)
- * 苗木を鉢に植えて育て、2～3年後に定植する手もある
 - ・仮設住宅にて・・・楽しみになり、ご近所つきあいの手助けにもなるかも
 - ・鉢はプラスチックでもなんでもよい、土も何でもよい。根付いたらIB化成肥料をやる
 - ・鉢で育てるのは、移植には強い
 - ・根をいじめることになるので成長は遅め。しかし、1年生を植えるよりは良い。
- * 苗木
 - ・1年生で配布(高さ： 1. 2m)。2年目2m(花が咲く)、3年目2. 5m、4年目には見応えが出てくる。
 - ・鉢のサイズ： 1年生では15～20cm 径、2年目30cm、3年目50cm以上
- * 桜の種類
 - ・あまり赤い桜(寒山など)は、飽きやすい
 - ・女川には、“大漁桜”が良いのでは！ ； 少しピンク色、潮風に強いし、霜でも大丈夫
ソメイヨシノと同じ頃、4月頃に咲く。 小田原にあるだけ



2. 桜の公園作りの仕組みについて

- * オーナー制度： やめるべき！
 - ・小山市は1本 3 万円で2000本の思川桜のオーナー制度を実施(見て来た)
 - ・木が1万円、プレートが5000円だが、管理費1万円では、肥料・消毒・草刈等が毎年毎年で赤字になっている。
 - ・木が枯れたり、生育が悪い場合、オーナーからの苦情対応も厄介
- * 墨田公園さくらパートナーシップ： こちらの方が良いのでは！
 - ・会費なし、 ボランティアとして、桜の世話(落ち葉から腐葉土を作って根周りに巻く、
根回りに菜の花、コスモス、ムラサキハナナ等を植えて、踏まれないようにする、
害虫防除、桜の間伐剤で柵作り、桜の元気度調査、等々)
 - ・運営費用には、各種助成金を活用(セブンイレブン50万円、イオン、ライオンズクラブ10万円、区から20万円、とか)
女川なら東北電力も候補か？

3. その他

* 花の会の支部を作るメリット

- ・花の会の支部会議で、上記のような情報・ノウハウを得ることができる
- ・支部会議(コマツビル:東京溜池山王)への参加補助(1名): 交通費半額、宿泊費全額負担、3食・酒付き
- ・年会費5万円のうち、1万円は助成としてフィードバックされる。年会費を助成金から負担することも可
 - TUWV OB 会、あるいは泉の森震災ボランティアグループ等の団体も支部会員になることができる
- ・年1回、講師をただで呼べる。植え替え講習もできる(植木屋さんでもOKだが)。行き来しやすくなる。

* 盛り土に伴う、津波桜“さくらたん”の移植費用

- ・掘り取り/菰巻き(6~7万円)、クレーン50トン(5~6万円)、トラック10トン(4万円)、
植栽(6~7万円) 計21~24万円

* 桜と一緒に植えると良い花

- ・アジサイ: 桜の葉の下の日陰でも育つ、花期が異なってまた楽しめる
- ・スイセン、彼岸花、コスモス

* クローン銀行?

- ・”さくらたん”そのものを助けることに意味がある
- ・クローンを作っても、普通のソメイヨシノの苗と同じものでしかない
- ・国立遺伝学研究所の研究: 全国のソメイヨシノは DNA が一致

* 参考

- ・桜は、同じ木のおしべとめしべからでは、実ができない。
- ・同種類の桜を作るのは、挿し木・接木かクローンからのみ
- ・実生は、したがって新種を産む
 - ソメイヨシノ = エドヒガン系の桜 x オオシマザクラ
 - カワヅザクラ = カンヒザクラ x オオシマザクラ